

「土曜つどいのひろば」

特定非営利活動法人 サポートステーション灘・つどいの家

1 事業が目指すところ

当事業は、2021年7月からスタートした、食事支援・学習支援・心のケアを目的とした子どもの居場所づくり事業である。それまでも平日に実施していたが定員となり、コロナ禍で必要性を感じた為に立ち上げた。特色として、土曜日午前中の開催、成徳地域福祉センターの新規利用、大学生講師、簡単な調理実習と食育、同日同所で開催中のデイサービスとの相互作用が挙げられる。より地域に根差し、地域連携も目的とした。

2 活動内容(子どもの居場所と広報活動。基本第2・4土曜日 10~12時。下表は1月末までの開催日と参加人数)

①	7/10(土)	5	②	7/24(土)	7	③	8/7(土)	7	④	8/25(水)AM	13
⑤	8/25(水)PM	5	⑥	8/28(土)	5	⑦	9/11(土)	9	⑧	9/25(土)	9
⑨	10/9(土)	10	⑩	10/23(土)	10	⑪	11/13(土)	12	⑫	11/27(土)	12
⑬	12/11(土)	13	⑭	12/25(土)	13	⑮	1/22(土)	14	⑯	1/29(土)	14



2021.8
セミナー
ゲスト



3 成果や課題点

- (1) 成果：土曜日食事付の開催は、共働き保護者から助かるという声を頂いた。成徳地域福祉センターは小学校敷地内にあり、低学年も安心して参加できた。大学生には話しやすいと子どもが話した。炊飯等、初めての体験を学習の合間に楽しめた。全く勉強しなかったのに当事業参加後、塾に通い出したと喜びの声も頂いた。高齢者と脳トレなど多世代交流ができた。活動の見学者が増えた。セミナー参加者がボランティアで参加するようになった。新たな企業との連携、住民から食材を頂いた。
- (2) 課題点：ブログの更新やチラシ配布の作業が滞りがちとなった。スタッフ増員の必要性を感じ、やりがいに着目したスタッフ募集の広報活動が課題である。

4 今後の展望、成果の活用

得られた成果を落とし込みチラシに特色を出し配布する。今後も心の拠り所となる居場所作りの理念のもと、他機関と連携を図りながら、より良い支援ができるよう活動していく。